

下水道探検ツアーを開催しました！

北上川上流流域下水道事務所

9月7日(土)都南浄化センターにて下水道探検ツアー(主催:北上川上流流域下水道事務所、公益財団法人岩手県下水道公社)が開催されました。

この下水道探検ツアーは、「下水道の日」に合わせて、下水道に関する知識の普及啓発を目的として開催されているものです。

当日は、岩手県内各地から168名の方が訪れ、浄化センター内を見学できる「下水道探検ツアー」や「微生物観察」などを通して、下水処理の仕組みや役割について学びました。



下水道探検ツアー (浄化センターの 施設見学)

最初沈殿池からスタートし、反応タンク、最終沈殿池、地下管廊を通して送風機を見学し、下水処理の仕組みを学びました。微生物の力で、濁った水がきれいになる様子を見学しました！

微生物観察 (顕微鏡でミクロの 世界を観察)

有機物を分解して水をきれいにする目に見えない微生物の様子に興味津々でした！





バックホウの操作体験
岩手県建設業協会盛岡支部による協力



管渠カメラの操作体験
日本下水道管路管理業協会による協力

このほかにも、流域下水道 50 周年を記念するパネル展、岩手県流域下水道・盛岡市のマンホールカードの配布、汚れが沈殿するおもしろ実験やスタンプラリーを行いました！

【来場者からのコメント】

- ・水を綺麗にする仕組みが興味深かった。
- ・普段見ることのできない施設を見学できて良かった。
- ・微生物観察が面白かった。
- ・親子で参加しましたが、親の方が楽しんだ。
- ・油物や皿を洗う時にきちんと拭いてから、洗おうと思います。
- ・能登半島地震で災害に強い浄化槽の重要性を認識した。



9月10日は『下水道の日』

下水道にはお風呂や台所、トイレなど家庭等から出る汚水を下水道管を通して下水処理場に集め、浄化し、自然に帰すほかに、雨水を速やかに流し街を洪水から守る役割があります。

1年を通して短い時間に多くの雨が降るのは、8月から10月の台風シーズンです。中でも、9月10日は立春から数えて220日目にあたり、二百二十日（にひゃくはつか）と呼ばれ、大きな台風がくるとされていました。この台風シーズン中の特別な日が下水道の雨水を流すという役割と馴染みがあるということで、9月10日が「下水道の日」と決められました。

